

1 前回、前々回のリアクションを読んだ感想

前回、先輩方の話をみんなそれぞれわかりやすくまとめていて  
私自身も参考になりました。

前回は、みんなのビデオを見た感想がとても  
良いなと思いました。

2 半年間の講義内容で、自分の興味、関心と結びつき、「深い学び」に結びついた  
(あるいは結びつくような予感があった)ものは、ありましたか。その内容を書いて下  
さい。

私が一番印象に残っている授業は、「青い目、茶色い目-教室は目の色で分けられた」  
のビデオです。

実際にこのような目の色や肌の色で差別を受けている人を見たことはないが、  
先生の指示でこれだけ生徒が変わってしまうと考えると、先生の発言や行重りが  
あつく大事ななと思いました。このような身辺に起きている問題を生徒自身が  
しっかり考えることで「差別」などのより深い学びができるのではないかと思います。  
私自身もこのような問題についてしっかり考えたいと思いました。

3 「東京都教職課程ハンドブック」で印象に残ったこと。

小学校の一日、一年間が印象に残りました。

私が小学生の頃、先生は休みなく常に生徒の姿を見て活動かして  
改めて大変なんだなと感じました。

学級運営や学校行事も1年間を通して行うことが多いなと思いました。

それぞれの書分に書いてあったPointが大事ななと思いました。

学がだけでなく安全なぞもしっかりしているなと思いました。

4 朝日新聞記事を読んだ感想 (学校と不登校、主体的で対話的で深いまなびと  
の関係など)

学校の休み時間は自分の好きなことをすべきだと思います。

全員が外で遊ばないわけではないし、決まりではないと思うからです。

また今は不登校な児童が増えています。家庭の状況や友人関係などの  
理由などで不登校な人がいるのは何か良い解決策を見つけるべきだ  
と思います。みんながよりよい学校生活が出来るように課題を  
解決すべきだと思います。

5 他の人から感想をもらう

( ) →

[NICE !!!]

1 前回、前々回のリアクションを読んでの感想

- ① 前はどの学校にも外国籍の子が何人かいるのが普通になっていて。そのため外国籍の子にもその安心できる学校生活をつくるために私たち教師も目指す者はあること、感じることはあった。
- ② 4年生の皆さんの合格体験談を聞いた。私自身、ドキッとさせられたし、聞いていながらもこれからやしろやしろ、意識しようという気持ちにはなったことがわかった。

2 半年間の講義内容で、自分の興味、関心と結びつき、「深い学び」に結びついた(あるいは結びつくような予感がした)ものは、ありましたか。その内容を書いて下さい。〈第7回:「主体的対話的に深い学び(その3)」〉

「嫌いなものの写真を撮っておいで」といわれることになって今までの人生で一度もない。藤原新也さんの「課外授業」を見て私は、「この授業を受けられる人の子たちはウラヤましい」と思った。理由として写真が好きであること、写真は好きなもの、キレイなものを撮るのと同じで自分ではまったく思いつきにくくもないことをしているなと思い、興味を持つ。嫌いなものを撮らした理由は、嫌いなものも誰かの好きなものかもしれないと気がついて、嫌いなものも撮ってみたい。みんなの言葉をきいてみたら気にならなくなるとか、受け入れたりするのはいい。人の気持ちや価値観は違うからきめつけはせよ。受け入れたりするのはいい。考えたことがあることの大CPを学ぶ。

P.50 (東京都の教員の給与)

	大卒	短大卒	他の公務員より高い。
① 小・中・高単独学校	約247,500円	約226,100円	
特別支援学校	約260,400円	約238,000円	

- ② 勤務条件
  - ・時間: 1週間38h45min 夏休みが5日なんて...という気持ち。
  - ・夏季休暇: 5日 やはり学生で長期休暇は楽しみたいと見た。

4 朝日新聞記事を読んでの感想 (学校と不登校、主体的で対話的で深いまなびとの関係など)

学校は必ずしも行かなければならない場所ではないのかなと思った。  
日本の校則はやっぱりいいなとしか書いていない。(外国の校則はあまり知らないが)もっとゆるくすればいいのにと思う。  
学校と不登校はやっぱり近い関係を持っている。  
ルールだらけの学校で主体的で対話的で深いまなびはできないし、しよくとも思えないのかなと少し心配。

5 他の人から感想をもらう

( ) → ちゃんと違ってるよとめらわれない?

299

1 前回、前々回のリアクションを読んだ感想

(前) 先輩方の話からしっかり吸収することを吸収して皆これから先の生活に活かしていく事を決意して私もやる気になりました。

(前) 2番の「異質な他者」を感じるものの皆の選択がそれぞれちがっていて、多様性を感じた。

2 半年間の講義内容で、自分の興味、関心と結びつき、「深い学び」に結びついた(あるいは結びつくような予感があった)ものは、ありましたか。その内容を書いて下さい。

第7回 (11月8日)

自分のいることについて考えることはすごく大事なことだと思う。  
この先は、他の教科と結びつけて教科横断的な授業を展開していく事が必要になっていくと思うし、現代の授業のDVDなどを見ながら対話的な授業について考えるのがすごく興味深く感じました。

3 「東京都教職課程ハンドブック」で印象に残ったこと。

「若手の先生に聞きました!」の「教員になって、一番の思い出は?」という質問に、「子どもは毎日ちがう。何ができるようにほったり笑ったり...。」と答えて、毎日変わる子どもの表情や行動に苦戦しつつ、ふとした瞬間に見せる子どもらしさに救われているのかと、感じ、教員という仕事に改めてすごく魅力を感じました。

4 朝日新聞記事を読んだ感想 (学校と不登校、主体的で対話的で深いまなびとの関係など)

「決まりだから。」と言われたら何も言えなくなるし、子どもは疑問が残らないと思う。「決まりがあるのはどうしてなのか」、「決まった事以外のことをしたい理由」など、子どもの考えを十分理解できるように教員と子どもの間で対話的な関係を築いていかなければいけないと思う。その環境での学びは子どもにとって教員にとっても興味のあるものになると思う。

5 他の人から感想をもらう

( ) → 対話的で子どもと先生、  
教師は生徒と対等に話してくれないというイメージがある。

1 前回、前々回のリアクションを読んでの感想

前々回 → DVDの感想がすごく良く書けていたし、みんな異なる考え方があったのが面白かった。特に、「先生の言葉には大きな力がある」という意見に胸がひきまされる思いだった。

前回 → 先輩方のお話を聞いて、気持ちが変わり学生が少なかったことで、行動に移せるかどうか問題だと思った。

2 半年間の講義内容で、自分の興味、関心と結びつき、「深い学び」に結びついた(あるいは結びつくような予感があった)ものは、ありましたか。その内容を書いて下さい。

特に興味を持った授業内容は「教師という職業はブラックか」という見解だ。私は中学生の時から、教師という職業に憧れを抱いてきたが、自身の考えているキラキラした教師生活のイメージを反転させるような内容だったのが、特に印象深かった。私はそのブラック的な要素を踏まえた上でも、教師だからこそできることと大切にして、自分のできる限りのことは、全て尽くせるように、頑張りたいと気を引き締めた。

3 「東京都教職課程ハンドブック」で印象に残ったこと。

若手の先生に聞きました！の部分で、どうして教員になろうと思ったかの質問で、それぞれの先生方の重み機はちがった。でも、ボランティアなどで、経験すること、決めたという人が多かった。大学生で、日時間に余裕がある今に、多くの経験をしたいことが大切だと思った。

4 朝日新聞記事を読んでの感想 (学校と不登校、主体的で対話的で深いまなびとの関係など)

日本の学校はルールや規則が多いというのは、すごく納得がいく。学校は本来、学ぶ場だから、そのためルールでも、ルールに厳しすぎることで、本来の意味を失いつつあるのではないかと感じる。また、不登校の子供に対して、通信性の学校だったり、早く選択科目を用意しておくことは、大切だと思う。

5 他の人から感想をもらう

( ) → ラスト授業をしっかりと書いておくれ(〇)